opusdei.org

オプス・デイの最初 のキリスト教的形成 クラス

1933年1月21日:オプス・デイの初期に、聖ホセマリアの若者のための最初のキリスト教形成クラス

2021/02/06

1933年1月21日

サークルと呼ばれる形成の手段が始まったのは、1933年1月21日であったが、第1回目には3人の大学生が参

加した。その1人は、フアン・ヒメネス・バルガスという医学生で、その後、「この世の真只中で聖性を歩む道」に加わった。

キリスト教的形成のこの最初のクラスによって、オプス・デイは青年との使徒職を開始した。オプス・だの使徒職を開始した。オプス・たのには、まだ活動拠点がなかったの形は、まだ活動拠点がなっての形式を呼ばれるこの形が、チークルと呼ばれるこのというスは、ポルタの施設で行われた。その施設で行われた。聖ホセマリスをしていた。聖ホセマリスをしていた。聖ホセンでは、中るしの秘跡や子どもたび、でのを設に出向いていた。

聖ホセマリアは、数日後の1月25日に、以下のようなメモを残している。「先週の土曜日、神のおかげで、3人の青年とともにポルタ・チェリで、聖ラファエルと聖ヨハネの保護を頼んだ使徒職を立ち上げ

た。講話の後で、簡単な聖体賛美式 をし、ご聖体で彼らに祝福を与え た。毎水曜日に集まることになっ た|(1)|

アンドレス・バスケス・デ・プラダ は次のように記す。「フアンは、神 父の動作や祈り方、『なかでも、手 に聖体顕示台を持ち、祝福を与える 姿』からほとばしる信仰と信心に強 い印象を受けた。その祝福の間、師 が何を考えていたか、後になって説 明している。『クラスが終わると、 あの青年たちと一緒に聖堂に行っ た。聖体を入れた顕示台を手に取 り、高く掲げてあの3人を祝福し た。…そのとき私は300人、30万 人、3千万人、3百億人の…白人、黒 人、黄色人種、あらゆる色の人々、 人間の愛から生まれるあらゆる色の 混合の人々を見た。しかし、私の夢 はとても追いつかなかった。半世紀 たった今、それは現実になった。主

は際限なく寛大であられたので、私の夢はちっぽけになった』。

サークルと共に、聖ホセマリアは、 若者たちに、慈善の業を実行するよう励ました。例えば、困っている人 たちを訪ね、助けの手を差し伸べ、 キリスト教的な温かさを伝えること、また、要理を教えることも勧め た。

クラスまたはサークルと呼ばれるキ リスト教的形成

その時から、キリスト教的生活のためのクラス、また、慈善の業や要理指導が5大陸で行われている。

オプス・デイでは、社会、文化、また地理的に様々な人々が、キリスト教的形成のクラスやサークルを受けている。

サークルは、短い祈りで始まり、三 位一体の神と聖マリア、使徒たちに 助けを願う。サークルを指導する人は、その日の福音を読み、短いコメントをする。それから、講話やキリスト教的生活のポイントについて話す。例えば、仕事の聖化や社会的責任、福音宣教などがテーマとして扱われる。

参加者の数は様々である。通常は、 集中しやすいように、数が多くなり すぎないよう心掛けられている。人 によって、生活の状況は様々なので、サークルへの参加の頻度も様々である。サークルは、家庭、オプス・デイのセンター、職場など、様々な場所で行われている。

(1) Josemaría Escrivá en las calles de Madrid, Guía para seguir sus pasos, Rialp, Madrid, pág. 26)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/saishono-keiseino-kurasu/ (2025/11/30)